



園長だより

発表会も無事に終わり子ども達の元気な声が園内や園庭に響いています。もうすぐ節分ですが、子ども達は大丈夫でしょうか？(笑)

これからめろん組は、就学に向けて、他のクラスは進級に向けてそれぞれ残りの日を過ごしていきます。特にめろん組さんはあと2ヶ月で卒園となり、生活が一変しますね。毎日宿題が出たり、歩いて登校したり。就学にあたり小学校からのお願い事もたくさんあるので、その都度伝えられたらと思っています。たくさんの期待を持って小学校に行きましょうね。

毎日ホントにホントに寒いですね。ある日の事、ぶどう組さんが散歩に出かけてあまりの寒さに泣き出してしまい、結局園内でのおままごとになったってこともありました。この寒さもあと少し。早く暖かい日が続き、たくさんお外で遊べたらいいですね。

『絵本で伝わる保育・子育てのエッセンス』



おじいさんが、甘い大きなかぶを作ろうとかぶを植えました。そして、とっても大きなかぶができました・・・という始まり。おじいさんは「うんとこしょ どっこいしょ」と抜こうとしますが抜けません。子ども達はここのところが好きで、みんな「うんとこしょ どっこいしょ」って楽しそうに言ってくれますよね。

おばあさんと呼んで来て、おばあさんがおじいさんを引っぱって、おじいさんがかぶを引っぱりますが、それでもかぶは抜けません。

まご娘、いぬ、ねこが増えるたび「うんとこしょ どっこいしょ」・・・子ども達の声もだんだんと大きくなり、体を動かしながら掛け声をかけます。ねこにねずみも加わって「うんとこしょ どっこいしょ」・・・そして、やっとかぶが抜けました。その時の子ども達のホッとしたような顔。これを読むたびに読み手と子ども達の一体感を感じることもできる絵本です。